



中域ディスクドッジトーナメント 2023年度 小学生王座決定戦

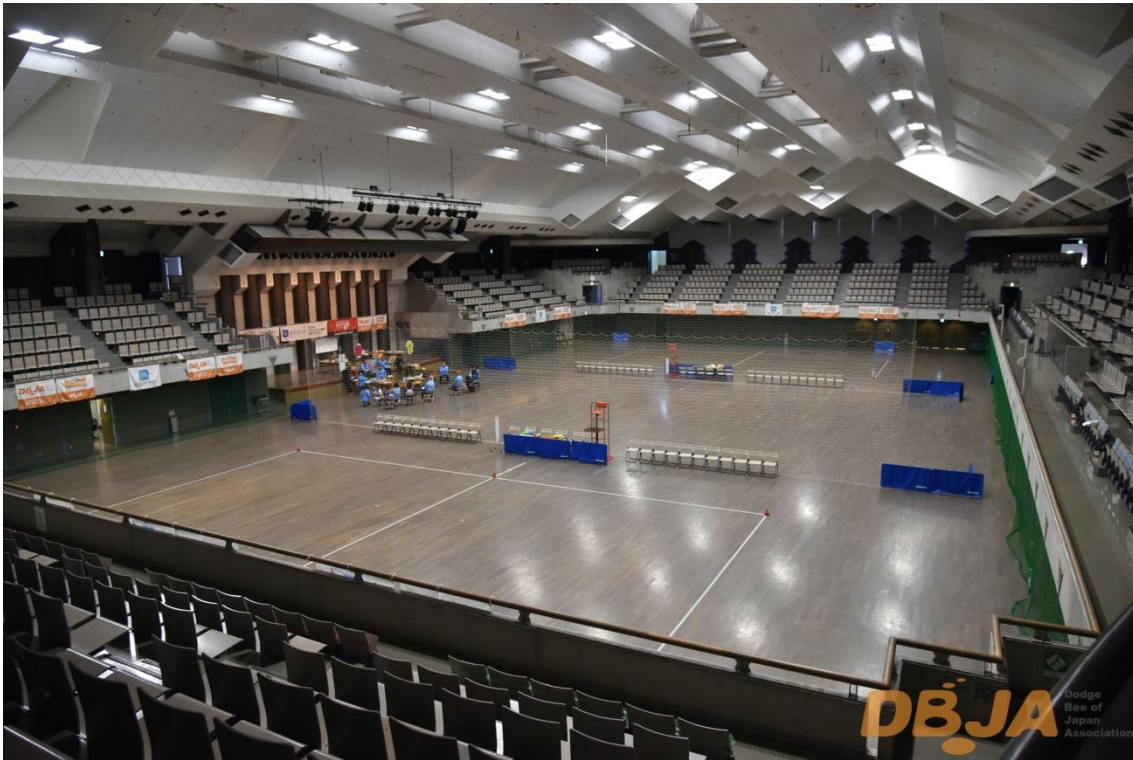
【実施報告書】



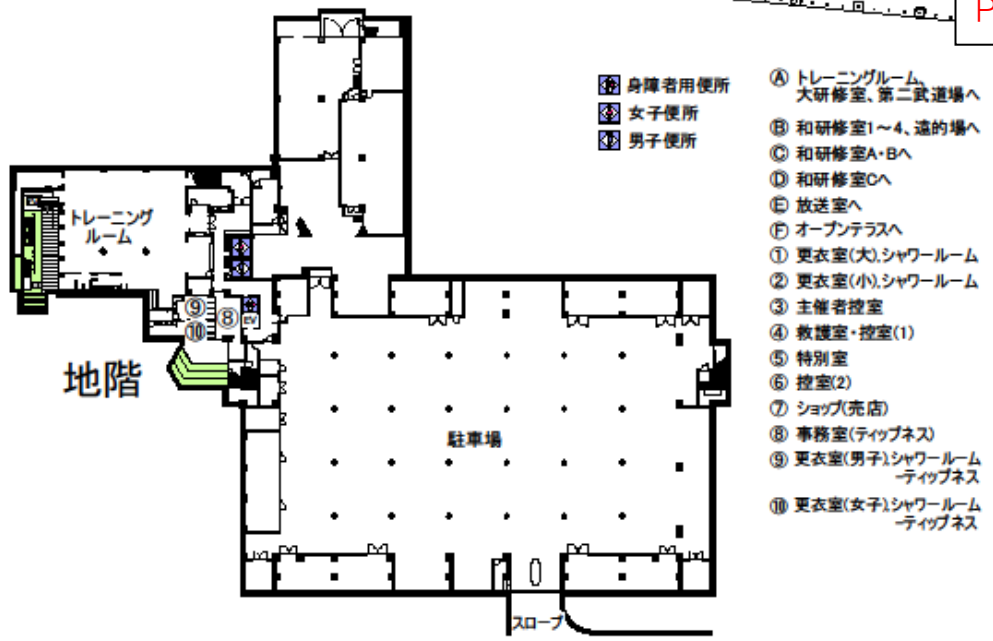
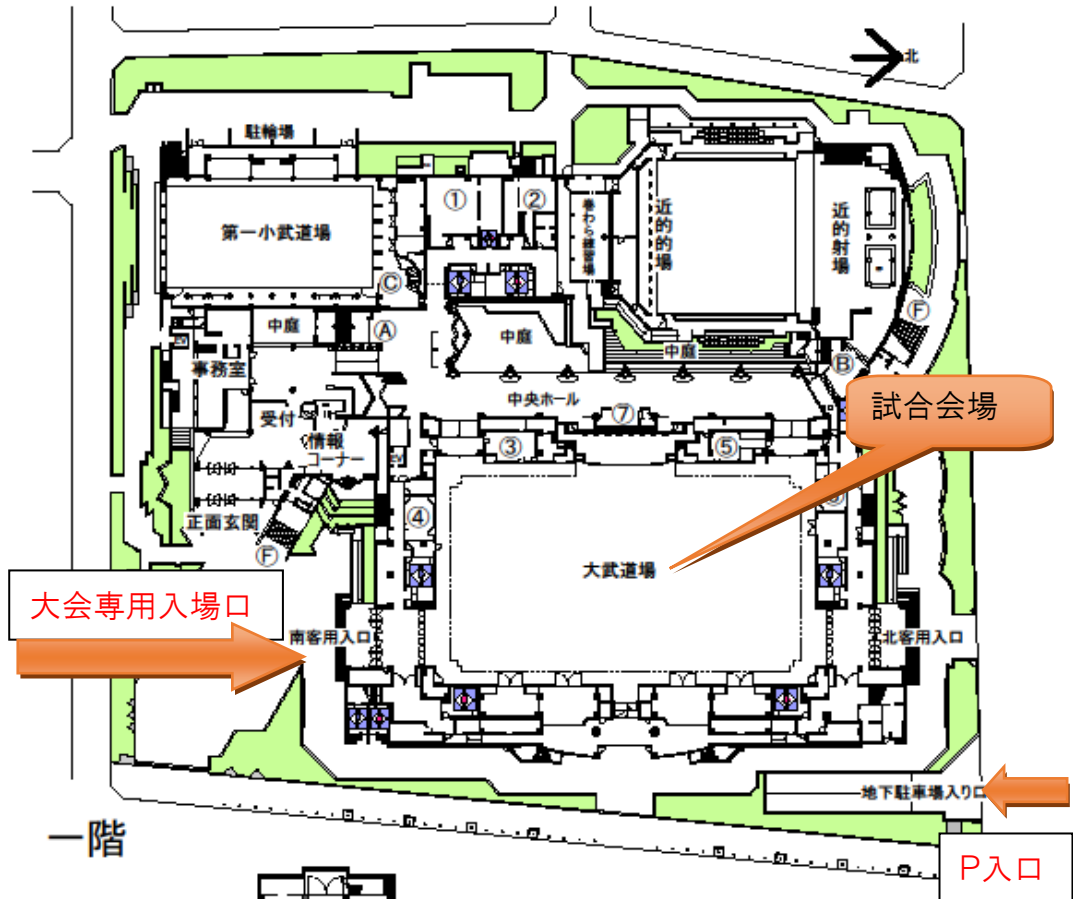
一般社団法人日本ドッジビー協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-3F

TEL: 03-3264-3626 Mail: support@dbja.jp



東京武道館 【会場全体図】



【大会概要】

名称 中域ディスクドッジトーナメント 2023年度 小学生王座決定戦
日時 2024年(令和6年)3月27日(水曜日) 11:00~17:00
場所 東京武道館 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20-1
TEL:03-5697-2111
主催 一般社団法人日本ドッジビー協会
協力 一般社団法人日本フライングディスク協会
協賛 文化シャッター株式会社 株式会社クラブジュニア

【参加チーム】

今大会は平日開催となるため、参加チームが集まらず大会が不成立となることを回避する策として都内近郊で開催された地域大会の優勝チームに先行募集をおこない優先枠として6チームを確定した後に一般募集をおこなった。一般枠×6チームとして合計で12チームの募集しましたが想定以上に参加希望をいただく結果となり、優先枠×6、一般枠×9、合計15チームでおこなうことに変更して実施した。



— 優先枠チーム —

1 チャレンジファイターズ	東京都荒川区	DBJA 主催大会 優勝	14
2 越谷市ドッジビークラブ KDC	埼玉県越谷市	越谷市大会 優勝	12
3 平ファイターズ	川崎市宮前区	川崎宮前区大会 優勝	20
4 染地サンダー	東京都調布市	調布市大会 優勝	18
5 チーム★花保	東京都足立区	足立区大会 優勝	15
6 お茶の水 K.S.C	東京都千代田区	千代田区大会 優勝	11

— 一般枠チーム —

7 ドリーム☆ファイターズ	東京都荒川区		12
8 越谷市ドッジビークラブ KDC1	埼玉県越谷市		14
9 侍・国領	東京都調布市		18
10 峡田ホワイト	東京都荒川区		12
11 峡田ブラック	東京都荒川区		17
12 深大寺ドッジビーサークル	東京都調布市		14
13 ささみラリー	群馬県邑楽郡		14
14 峡田ブルー	東京都荒川区		12
15 west6	東京都荒川区		11

選手総数 214 人

【競技方法】

- ◇選手構成 ～今大会は「ディスクドッジ小学年部門」のみの開催。
 ・選手は小学生／学年・性別は不問。
 ・チーム人数は最低10名、上限は20名とした。
- ◇ルール 基本的に日本ドッジビー協会制定の公式でおこなった。
- ◇試合時間 3分30秒の前・後半でおこなった。
- ◇使用ディスク 公式ミカサモデル【250】Official RipStopを使用。

中域ディスクドッジトーナメント 2023年度 小学生王座決定戦 タイムスケジュール

10:40～ 審判スタッフ(DTR)集合

2024/3/27開催

10:45～ 参加選手/入場開始

11:15～ 開会式 / 諸注意説明 / 集合写真撮影

時間帯	試合 対	第1コート		試合 対	第3コート	
11:45～12:00	a-1	チャレンジファイターズ	vs	お茶の水K.S.C	b-1	越谷市ドッジビークラブ KDC vs チーム★花保
12:00～12:15	c-1	染地サンダー	vs	平ファイターズ	a-2	ささみラリー vs 峡田ホワイト
12:15～12:30	b-2	深大寺ドッジビーサークル	vs	ドリーム☆ファイターズ	c-2	west6 vs 峡田ブルー
12:30～12:45	a-3	侍・国領	vs	お茶の水K.S.C	b-3	峡田ブラック vs チーム★花保
12:45～13:00	c-3	越谷市ドッジビー KDC1	vs	平ファイターズ	a-4	チャレンジファイターズ vs 峡田ホワイト
13:00～13:15	b-4	越谷市ドッジビークラブ KDC	vs	ドリーム☆ファイターズ	c-4	染地サンダー vs west6
13:15～13:30	a-5	侍・国領	vs	峡田ホワイト	b-5	峡田ブラック vs ドリーム☆ファイターズ
13:30～13:45	c-5	越谷市ドッジビー KDC1	vs	west6	a-6	チャレンジファイターズ vs ささみラリー
13:45～14:15	全体休憩					
14:15～14:30	b-6	越谷市ドッジビークラブ KDC	vs	深大寺ドッジビーサークル	c-6	染地サンダー vs 峡田ブルー
14:30～14:45	a-7	お茶の水K.S.C	vs	峡田ホワイト	b-7	チーム★花保 vs ドリーム☆ファイターズ
14:45～15:00	c-7	west6	vs	平ファイターズ	a-8	侍・国領 vs チャレンジファイターズ
15:00～15:15	b-8	越谷市ドッジビークラブ KDC	vs	峡田ブラック	c-8	染地サンダー vs 越谷市ドッジビー KDC1
15:15～15:30	a-9	お茶の水K.S.C	vs	ささみラリー	b-9	チーム★花保 vs 深大寺ドッジビーサークル
15:30～15:40	c-9	峡田ブルー	vs	平ファイターズ	a-10	侍・国領 vs ささみラリー
15:40～15:50	b-10	峡田ブラック	vs	深大寺ドッジビーサークル	c-10	峡田ブルー vs 越谷市ドッジビー KDC1
15:50～16:00	成績集計					
16:00～16:15	㊴	越谷市ドッジビークラブ KDC	vs	west6	準決勝	
16:15～16:30	㊵	チャレンジファイターズ	vs	west6	決勝戦	
16:30～16:40	表彰準備					
16:40～17:00	表彰式 / 閉会式(参加賞配布)					

【対戦方法】

◇予選リーグ

各5チームA/B/C、3リーグ総当たり戦をおこない、勝点で順位をつけた。
 勝者は勝点3、同点は引分けで両チーム勝点1、敗者は0で勝点を集計。

◎3リーグの振り分けは以下を考慮して主催者が決定しました。

- 兄弟チームを分割(峡田×3、ファイターズ×2、KDC×2)
- 荒川区6チームを2チームずつに、調布市3チームを1チームずつに分割
- 同名ファイターズを1チームずつに分割 ○優先枠6チームを2ずつに分割

予選【A】リーグ表

順位決定は勝点制を採用。勝ち=3ポイント、引分け=両チームに1ポイント、負け=0ポイント

A	チャレンジ ファイターズ	試合 勝点	お茶の水 K.S.C	試合 勝点	侍・国領	試合 勝点	ささみらりー	試合 勝点	峡田ホワイト	試合 勝点	勝点 合計	総得 点	総失 点	得失 点	順位
チャレンジ ファイターズ ①荒川			18-3	3	15-11	3	18-1	3	17-4	3	12	68	16	52	1
お茶の水 K.S.C ⑨千代田	0-18	0			11-13	0	12-9	3	13-11	3	6				3
侍・国領 調布	11-15	0	13-11	3			12-12	1	15-8	3	7				2
ささみらりー 邑楽	1-18	0	9-12	0	12-12	1			14-10	3	4				4
峡田ホワイト 荒川	4-17	0	11-13	0	8-15	0	10-14	0			0				5

予選【B】リーグ表

順位決定は勝点制を採用。勝ち=3ポイント、引分け=両チームに1ポイント、負け=0ポイント

B	越谷市 ドッチビー クラブ KDC	試合 勝点	チーム ★花保	試合 勝点	峡田ブラック	試合 勝点	深大寺 ドッチビー サークル	試合 勝点	ドリーム ファイターズ	試合 勝点	勝点 合計	総得 点	総失 点	得失 点	順位
越谷市 ドッチビー クラブ KDC ⑦			14-3	3	11-10	3	11-9	3	12-9	3	12	48	31	17	1
チーム ★花保 ⑨足立	3-14	0			2-17	0	6-14	0	4-14	0	0				5
峡田ブラック 荒川	10-11	0	17-2	3			17-4	3	11-14	0	6	55	31	24	2
深大寺 ドッチビー サークル 調布	9-11	0	14-6	3	4-17	0			11-7	3	6	38	41	-3	4
ドリーム★ ファイターズ 荒川	9-12	0	14-4	3	14-11	3	7-11	0			6	44	38	6	3

予選【C】リーグ表

順位決定は勝点制を採用。勝ち=3ポイント、引分け=両チームに1ポイント、負け=0ポイント

C	染地サンダー	試合 勝点	平 ファイターズ	試合 勝点	越谷市 ドッチビー クラブ KDC1	試合 勝点	峡田ブルー	試合 勝点	west6	試合 勝点	勝点 合計	総得 点	総失 点	得失 点	順位
染地サンダー ⑨調布			8-13	0	12-4	3	11-8	3	7-14	0	6	38	39	-1	3
平 ファイターズ ⑨宮前	13-8	3			14-8	3	15-9	3	7-11	0	9	49	36	13	2
越谷市 ドッチビー クラブ KDC1	4-12	0	8-14	0			9-12	0	3-15	0	0				
峡田ブルー 荒川	8-11	0	9-15	0	12-9	3			12-11	3	6	41	46	-5	4
west6 荒川	14-7	3	11-7	3	15-3	3	11-12	0			9	51	29	22	1

◇決勝トーナメント

予選3リーグの各1位3チームの得失点を計算して暫定1～3位を算出した

スケジュール表⑳準決勝は

暫定2位～越谷市ドッチビークラブ KDC と暫定3位～ウエストシックスが対戦した結果、7 - 11でウエストシックスが決勝へ進出。

スケジュール表㉑決勝戦は

ウエストシックスと暫定1位～チャレンジファイターズが対戦した結果、7 - 15でチャレンジファイターズが優勝した。

△表彰

優勝／準優勝／第三位の3チームを表彰し、主催者のDBJAより表彰状を贈呈

副賞として

協賛／クラブジュニア様より～
ドッチビーディスクを順位別に配分贈呈



協賛／文化シヤッター様より～

優勝チームにドッチビーロゴ入り金メダルを当日参加選手全員に贈呈

準優勝チームにドッチビーロゴ入り銀メダルを当日参加選手全員に贈呈

第三位チームにドッチビーロゴ入りガラス盾をチームに贈呈

【優勝／チャレンジファイターズ】



【準優勝／ウエストシックス】

【第3位／越谷市ドッチビークラブ KDC】



【運営方法】(事前・付帯事項)

△客席からアリーナへの選手の入／退場をルート規定

下記、配置図にある通り、

会場西側の舞台へ降りる2か所の階段を使って待機スペースへ集合

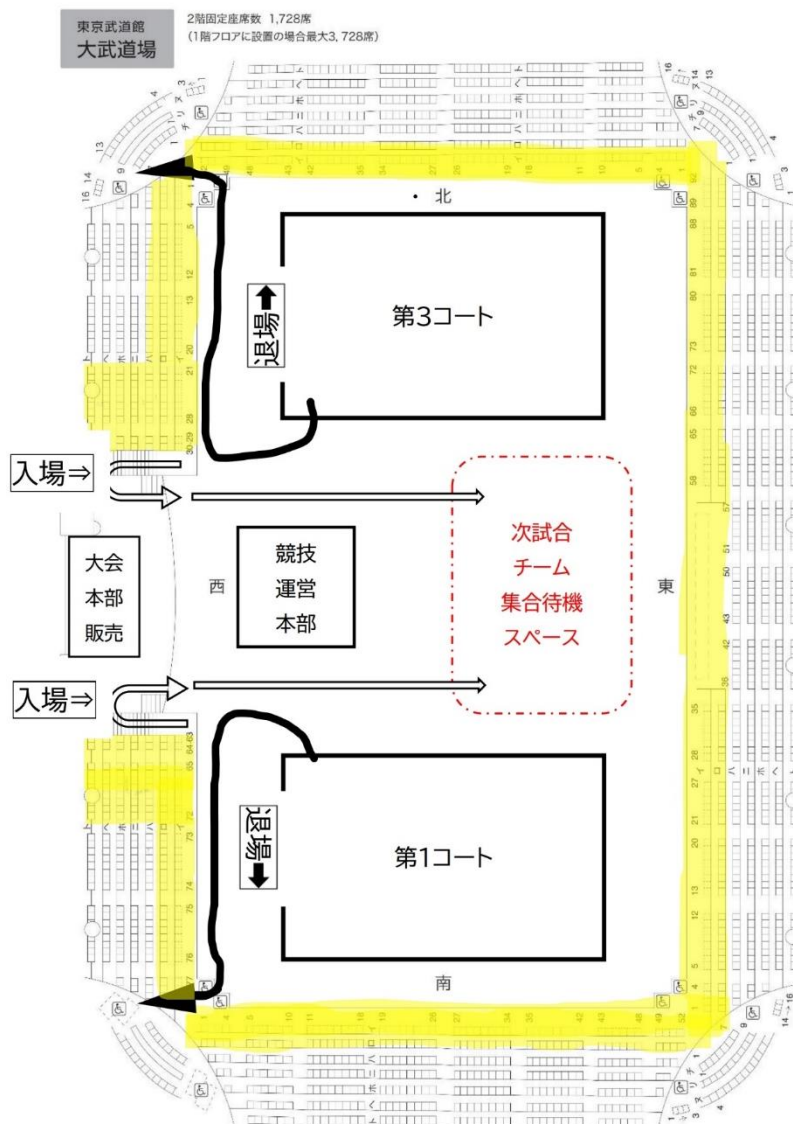
1コート、3コートそれぞれ試合終了後、直ちに一方通行の経路で退場

※大会開始初期に一方通行の案内が徹底されず、多少、混乱が見られたが時間の経過とともにスムーズに流れた。この会場では有効な手段と感じた。

〈選手の入退場ルート・客席の配置図〉

選手の**入場⇒**と**退場⇩**のルート ~ 今大会でのアリーナ入・退場は一方通行です。

観客・選手の控えスペースとしての占有を禁止するエリアです。



△事前準備の段階で主催者として最も懸念した問題点



平日開催でのスタッフの確保に大きな不安があったが協会資格保有者の中で若い層の協力をもらえたこと、
また先に、連携協定を結んだ先の日本フライングディスク協会へのスタッフ依頼を今大会、初めておこなったことが機能した。
今後、平日の大会開催も充分にあり得ると複数理事より意見が出て今後、検討事項とする。



△チーム応援バナー(横断幕)設置について

各チームによる手作り応援バナーを当日、掲出したいとの要望を事前に受けたことから、保護者向けサービスも重要であるとの視点で東面の観覧柵のみ、設置可能とする案内をした。
〈3ページの配置図参照〉

西・南・北面は主催者ならびに協賛社バナーのスペースとして設置位置を分離した。



△販売コーナー



協会の倉庫で眠っていた過去に作成したグッズのほか、最近、仕入れ入手したビーザックや数量限定の希少なグッズなどなど、

見ているだけで楽しめるよう心掛けたブースを会場に特設して販売した。

さすがに支払手段は現金のみの対応

で釣銭をはじめ、事前のプライス表示などそれなりの手間がかかるが、参加者目線から見た場合、イベント要素として重要なアイテムであることをあらためて認識することができた。ちなみに、当日の売上総額は9万円強！！

【競技所感】

本大会は都内近郊における地域大会の優勝チームが優先的に出場できる大会という位置付けもあり、予選リーグからレベルの高い試合が多く見られた。なかでも、予選 C リーグは west6 と平ファイターズが 3 勝 1 敗となり、得失点差により west6 がリーグ 1 位となり準決勝に進出した。

また予選 B リーグは峡田ブラック、ドリーム☆ファイターズ、深大寺ドッチビーサークルの 3 チームが 2 勝 2 敗で、得失点差によりリーグ 2~4 位の順位を争うこととなった。



準決勝はそれぞれの予選リーグ 1 位チームのうちの勝点・得失点差から暫定 2 位越谷市ドッチビークラブ KDC と暫定 3 位 west6 が対戦、11 対 7 で west6 が決勝に進出。

決勝戦は予選 A リーグで負けなし、他リーグと比較して得失点差も断トツで 1 位のチャレンジファイターズと準決勝を勝ち上がり勢いづく west6 の対戦。結果、前半 8 対 4、後半 7 対 3 となり、合計 15 対 7 でチャレンジファイターズが優勝となった。



予選リーグ上位チームはいずれもシュートスローの速さなどオフェンス力が高く、狙った相手選手を確実に当てる。またオフェンス力に加え、組織的なディフェンスをおこなうことができたのが予選リーグ 1 位で突破したチームと言える。オフェンス力についてはチームの数人のプレーヤーで成り立たせることができるが、味方のキャッチ力を考慮した位置取りなどの組織的なディフェンス力は練習の積重ね

や試合中の声かけなどが必須であり、日々の努力が重要と思われる。

主催者目線からより向上を求めたい技術としてより速く正確なパス回し。



本大会では、準決勝・決勝戦においても5秒ルールが適用されなかったとしても外野選手がパスやシュートスローを後ろに逸らす様子がよく見られました。味方の外野選手により速くピンポイントなパススローをすることで、今よりもさらにスマートな攻撃をすることができるよう。

【運営所感】

今回は初めて平日に大会を開催したこともありスタッフ不足が懸念されましたが、DTR 資格者のご協力や JFDA との連携協定に基づく支援体制により、必要なスタッフ要員数を集めることができた。これにより当初 12 の枠で募集したが参加希望のあった 15 チームすべてに出場いただくことができた。

平日は会場の観点では休日に比べれば確保しやすいため、今後の平日開催の可能性が高まり、大変参考になった。



当日の運営面では東京武道館は土足厳禁であり、約 200 人がスムーズに入場できるよう、チーム毎に順番に声かけをしてシューズの履き替えを促しての入場。

入場の順序でお待たせしたこともあったが、参加チームの皆様のご理解・ご協力があり、概ね予定時間通りに入館することができた。



会場内レイアウトは試合コート 2 面で中央スペースを運営本部と次試合待機場所スペースとしたことで入・退場一方通行になるような導線とすることができた。



また、チーム引率者にはオレンジビブスを1枚ずつ配布し、アリーナ入場時には引率者に着用をお願いしましたがこれらは運営サイドからはわかりやすく、混雑を回避した入退場は安全管理上も有効に機能したと思われた。



今回、運営本部の奥に販売コーナーを出店して様々なドッジビーグッズを販売しました。ロゴ入りステッカーやTシャツなど大変、好評だったためこのようなグッズなどを拡充することでドッジビーファンを拡げていきたいと思う。

全体の進行は、特に遅延することなく時間通り、運営することができた。



今後も、選手や観客その他関係者の皆様が、安全に楽しめる大会運営を目指したい。

今大会にご協力いただいた関係各位には心より感謝して、以上を報告とします。

